

## 暖地における春作産種馬鈴薯の夏季高温時の輸送について

## 第1報 長崎—熊本・岡山・宮崎間の輸送試験成績

菊川 誠士\*・大熊 靖\*・川久保 満□・相川 英雄◎・高岸 欽七◎

KIKUKAWA, S., OKUMA, Y., KAWAKUBO, M., AIKAWA, H. &amp; TAKAKISHI, K. On the Transportation of Spring Crop Seed Potatoes during Summer Season in the Warmer District of Japan. Part 1.

Transportation between Nagasaki and Kumamoto, Okayama, or Miyazaki

1. はしがき 秋作用種薯として暖地の春作産薯を安全に輸送できる梱包の種類及び輸送の時期を明らかにするため、種薯輸送の基礎試験を行ったもので、その概要を報告して参考に供したい。

2. 試験方法 昭和29年度春作産農林1号(6月22日収穫)を供用して、長崎県南高来郡大正村(島原線古部駅)から農林省九州農業試験場作物第2部(菊池電鉄高江駅)及び岡山県農業試験場馬鈴薯原種部(西大寺線西大寺駅から自動車便で24km)へ計画的に3種類の梱包で送付し、着荷状況及び着荷後植付期までの腐敗状況等を調査した。また長崎・宮崎間輸送は通風貨車によつて宮崎県児湯郡都農町に送付し着荷状況を調査した。

第1表 試験区の構成

試験別	輸送区間	輸送時期			輸送の所要日数	梱包の種類		
		区別	発送	着荷		スカシ木箱	依	炭依
第1試験	長崎・熊本	I	7.1	7.4	4	スカシ木箱	依	炭依
		II	7.21	7.24	4	〃	〃	〃
		III	8.11	8.14	4	〃	〃	〃
		IV	8.21	8.24	4	〃	〃	〃
		V	8.31	9.3	4	〃	〃	〃
第2試験	長崎・岡山	I	7.1	7.9	9	スカシ木箱	依	炭依
		II	7.21	7.29	9	〃	〃	〃
		III	8.21	8.26	6	〃	〃	〃
		IV	8.31	9.4	5	〃	〃	〃
第3試験	長崎・宮崎	—	8.26	8.30	4	スカシ木箱	依	炭依

\*農林省九州農業試験場

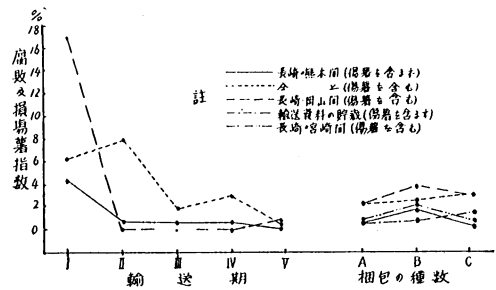
\*岡山県農業試験場

□長崎県農業改良課

◎長崎県農業試験場

## 3. 試験成績

第1図 輸送後植付期までの腐敗及び損傷著指数



4. 考察 イ) 薯温は依区が最も高く、炭依やスカシ木箱区が最も低く、輸送中の減耗も同様な傾向が認められる。

ロ) 輸送による損傷薯は、輸送期の間の差は認め難いが、腐敗薯についてはかなりの差が認められ、輸送期の早いものに腐敗が多く認められる。梱包の種類の間では一般に外部からの衝撃や板角で傷を受け易いスカシ木箱及び炭依に多い傾向が認められるけれども明らかではない。

ハ) 1塊薯当りの萌芽数は輸送期との差は認め難いが、梱包の種類では依区が最も多く、スカシ木箱は最も少く、5%水準で有意差が認められる。

5. 摘要 春作産馬鈴薯の輸送は高温期を避けることが安全であるが、収穫後輸送までの経過日数を増すことによつて、輸送中及び着荷後貯蔵中の腐敗を少なくすることができる。輸送時期は8月以降がよく、梱包法はスカシ木箱が最も優れている。